

## 山越 徳 先生 略歴

1945(昭和20)年 石川県に生まれる

### 学 歴

1964(昭和39)年3月 金沢大学教育学部附属高等学校卒業

1968(昭和43)年3月 慶応義塾大学経済学部卒業

1970(昭和45)年3月 慶應義塾大学大学院理論経済学研究科修士課程修了

1973(昭和48)年3月 慶応義塾大学大学院理論経済学研究科博士課程単位取得満期退学

### 職 歴

1973(昭和48)年10月 雇用促進事業団職業研究所研究員に就職(後に雇用職業総合研究所に名称変更)

1975(昭和50)年4月 法政大学非常勤講師(1985年3月まで)

1981(昭和56)年4月～1982(昭和57)年3月 労働省職業安定局雇用政策課へ出向

1981(昭和56)年10月 OECD ME 委員会へ出席

1988(昭和63)年4月 獨協大学経済学部助教授に就職

1989(平成元)年4月 国学院大学非常勤講師(1996年3月まで)

1990(平成2)年4月 獨協大学経済学部教授

2000(平成12)年4月 国土館大学非常勤講師(2012年3月まで)

2016(平成28)年3月 獨協大学定年退職

2016(平成28)年4月 獨協大学名誉教授

### 専門領域

産業経済、労働経済、計量経済学、経済統計

### 所属学会

日本統計学会、日本経済学会、環太平洋産業連関分析学会

## 主要研究業績

「産業、職業構造の変化とその相互依存関係」（『季刊労働法別冊』第2号 総合労働研究所、昭和53年4月）  
「産業別、職業別労働力の将来見通しにおける考え方」（『職業構造の変化と生涯教育』（NIRA OUTPUT）Ⅲ－1、総合研究開発機構、昭和55年3月）  
「就業構造のコホート分析－性別、産業別、職業別にみて」（日本労働協会編『80年代の労使関係』第6章、昭和58年2月）  
「産業職業マトリックスでみたサービス経済化、情報化の動向」（日本労働協会編『サービス経済化と新たな就業形態』、昭和62年7月）  
「構造変化と産業調整」（『獨協大学経済学研究』第52号、平成元年3月）  
「中小企業の分野と存立条件」（『人間尊重の中小企業政策』連合総合生活研究所、平成3年10月）  
「アジアの送り出し国と受け入れ国の対応」（桑原靖夫編著『国際労働力移動のフロンティア』日本労働研究機構、平成5年3月）  
「国際労働力移動のフロンティア」（『JIL リサーチ』日本労働研究機構、1993年夏、No.14）  
「産業構造の将来と雇用」（『少子高齢化時代の雇用問題』社会経済生産性本部、2000年3月）  
「外国人労働者の使用者」（桑原靖夫編『グローバル時代の外国人労働者』東洋経済新報社、2001年2月）  
「経済社会環境の変化と草加市の未来」研究報告書（共著）、平成12年3月  
「草加市周辺の地域開発・大型商業施設建設による市内経済への影響調査事業」報告書（共著）、平成20年3月  
「埼玉県における交通体系整備と経済活動について」（『埼玉県と県内大学との連携による政策研究報告書』埼玉県、平成24年6月）

他